

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電話 052-581-1013
FAX 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
普通口座731-677
発行人 梶山 広美
編集人 山田 真

No.390 目次

- ◆平成26・27年度役員推薦委員 …… (2)
- ◆第32回
愛臨技東三河地区研究会に参加して… (2)
- ◆地区だより… (3)
- ◆基礎講座・講演会・研究会… (4)
- ◆平成26年度
全国「検査と健康展」実施要領… (6)

平成26年度渉外部門活動について

副会長 中井 規隆

愛臨技渉外部門は組織部、広報部で構成され、事業を推進するために健康啓発委員会、ホームページ運営委員会を設置しています。組織部は、各地区理事を中心に会員間の相互交流を目的とした地区活動や、学術部門と協力して管理運営研修や新人サポート研修、ボランティア活動や交流会の企画などを行なっています。健康啓発委員会は県民の健康増進と衛生思想に関する普及啓発を行っており、愛知県や各種団体への協働によるイベントへの協力、HIV抗体検査ボランティア、ピンクリボン活動等を行なっています。また本年度は11月に開催予定の日臨技、愛臨技主催の全国「検査と健康展」の準備に取り掛かっています。一方、広報部は、「会報らぼニュース」と「会誌らぼ」の発刊およびホームページの運用を担っており、愛臨技のリアルタイムな活動を会員の皆さまにお伝えしています。

本年度は新しい役員体制になり、梶山会長の下3カ年計画を立案し、渉外部門としては「組織強化」「成熟した組織の運営」「会員意識の向上」を3つの柱として中期目標、短期事業方針を提出させていただきました。組織強化においては、現在の会員数を3000名規模とすることを目標に、登録衛生検査所やクリニックに所属する臨床検査技師の入会促進を具体的な事業活動に取り入れていきたいと思っています。成熟した組織の運営としては、会員が活動しやすい体制を実現し、ボランティア事業に関しては、ボランティアとして自主参加するような意識改革も必要と思っています。会員意識の向上は会員一人ひとりが臨床検査技師の知名度向上に心掛け、例えば一般的な「検査」ではなく「臨床検査」を意識することや、他団体企画の行事にも積極的に参加し、臨床検査技師をPRできればと思っています。また職能団体としての地位向上や業務範囲の拡大運動は、日臨技と歩調を合わせて活動して行きます。

渉外部門の活動は、学術部門活動のように即効性のある実感は持ちにくいのですが、職能団体として自分たちの将来にとって非常に重要な部門です。今年の6月18日には44年ぶりに臨床検査技師法が改正され、検体採取に関して大きく業務拡大されました。しかし、検体採取を行うためには、追加研修の受講が義務化されており、学術部との連携が必須です。また厚生労働省令の改正により、嗅覚・味覚検査の業務認証も進捗しており、これも研修が必要です。今後はチーム医療の立場からも関係団体との繋がりや相互協力も視野に入れて行かなくてはなりません。より一層の会員の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

平成26・27年度 役員 推薦委員

平成26・27年度 役員 推薦委員が8月理事会で承認されましたので報告します。

尾張西地区：左右田昌彦（厚生連江南病院）
尾張北地区：神野 洋彰（春日井市民病院）
尾張東地区：木場久美子（愛知医科大学病院）
尾張南地区：宮 努（労働者健康福祉機構中部災病院）
知 多地区：早川 隆司（西知多医療厚生組合東海市民病院）
西三河地区：丹羽京太郎（岡崎市民病院）
東三河地区：村上 昌彦（豊川市民病院）

第32回 愛臨技東三河地区研究会に参加して

7月13日（日）に、病院移転から1年をすぎた豊川市民病院の講堂にて第32回愛臨技東三河地区研究会が開催されました。

当日は約160名の参加者で一般演題は14題、そして公開講座が行われました。

一般演題では、当院では行っていない取り組みについて聴くことができ、新鮮でとても勉強になりました。

公開講座は、本物そっくりのスナメリやエイなどの海洋生物のロボットを製作している海洋楽者の林正道先生をお招きして行われました。現在、先生は

豊川市民病院 鈴木 志依

東北大震災の被災地や様々な病院を巡り、そのロボットで人々に海の楽しさや命の素晴らしさを伝える活動をされています。その活動に至るまでの経緯や実際にプールを用意してロボットを使って実演してくださいました。先生の活動で、病院から出られない普段笑顔でない子供たちが笑顔になる様子を見て、とても感動しました。

この研究会は毎年行われています。近隣の医療施設の方々が数多く参加しており、その方々と接するよい機会だと思っております。今後も積極的に参加していきたいです。



豊田地域医療センター

臨床検査科 加藤 隆正

豊田地域医療センターは、豊田市のほぼ中心に位置し、昭和52年の設立から約30年以上が経過しました。平成24年には公益財団法人を設立し、救急医療、各種健診検査、慢性期医療、在宅支援、看護師養成を主な事業としています。また病院理念に基づき、地域のみなさまが健康で生きがいのある明るい生活をおくるために、少しでもお役にたつことが最大の使命と考えています。

今回、臨床検査科の生理検査部門を紹介します。

外来・病棟における診療検査および精密検査、人間ドック・法定健康診断における健診検査、学校保健法に基づく学校心臓検診を主におこなっています。平成25年には、人間ドック健診施設機能評価認定の取得と、健診システムの新たな更新により、より効率でより安全な健診サービスが、受診者さまに提供出来ているものと自負しています。

人間ドックにおいては、MAX 140名に対応するために、心電図4機、腹部超音波5機、肺機能2機、聴力2機、眼底2機を、パート職員を含めた検査技



師で対応し、受診者さまの立場にたった健診をおこなっています。法定健康診断における健康診査においては、労働安全衛生法、その他法令により定められた一般健康診断および特殊健康診断（じん肺、有機溶剤など）をおこなっています。学校心臓検診においては、近隣の県立高校、豊田市立小・中学校の心電図検査、さらに、異常所見を有した児童の二次（精密）検査をおこない、児童における突然死防止に微力ながら寄与できれば幸いと考えています。

私たち臨床検査科職員は、他職種を含めたチームの一員であることを肝に銘じ、医療・保健・福祉を通して地域のみなさまの命を守り、健康で生きがいのある生活を支援できるよう、日々努力しています。

高須病院

検査課 都築 亜依

高須病院は西尾市一色町にあり、明治44年に高須医院として開院し、昭和49年に高須病院になりました。今年で101年です。『患者様に奉仕する高須病院』を病院理念とし地域に密着した病院を目指しています。昨年は、理事長である高須克弥医師の指揮のもと、開院100周年高須まつりを開催致しました。大変盛況をいただき地域の方々と楽しい時間を過ごすことができました。

高須病院は、169床（急性期病棟49床、回復期リハ病棟60床、介護療養型病棟60床）、血液透析センター19床です。他にはずケアサービスステーション、はず訪問看護ステーション、高須ヘルパーステーション、通所リハビリセンター、高須デイサービスセンター、グループホーム高須など多岐に渡り展開しております。隣接して、高須ケアガーデン（介護老人保健施設）、サンライズ高須（サービス付き高齢者向け住宅）サンライズ高須（デイサービス、ヘルパーステーション）があります。

検査課は現在、職員が3人、ブランチャボですの



で委託の職員が1人と合計4人です。職員は臨床検査全般と生理検査全般、輸血検査、輸血療法委員会事務局、感染ICT、医療安全管理者、糖尿病チーム、採血など多岐に渡り業務としています。長年、技師会に所属してはいたものの、精度管理調査以外は参加していませんでした。ある時ふと、こんな内にもって世間を知らない技師でいいのか…と思い、第一歩として、小さな検査室ではありますが、西三河施設責任者連絡会議に参加してみようと考えました。参加する様になり他院の技師の方と話すことができたことから、色々な面で少しずつ積極性が生まれ、いい方向に変わることができて行動してみても良かったと思っています。

基礎講座

一般検査研究班

(認定一般検査技師指定講習会 申請中)

専門教科：20点

日時：平成26年11月2日(日) 9:30～16:00

場所：名古屋大学医学部基礎棟3F 第一講義室

(JR中央線鶴舞駅下車 名大病院口より徒歩3分)

テーマ：「症例と尿沈渣」

I. 講演

1) 「泌尿器科疾患と脂肪幹細胞再生医療」

名古屋大学 大学院医学系研究科

機能構築医学専攻 准教授 山本 徳則

2) スライドカンファレンス

① 西知多医療厚生組合 東海市民病院

加藤 節子

② 碧南市民病院

包原 久志

II. 鏡検実習

III. グループディスカッション

司会：名古屋大学医学部附属病院 岩崎 卓識

名古屋市立大学病院 阿部 臨

申込方法：下記の申込事項①～⑨について、Eメールでお申込みください。

申込事項：①会員番号 ②氏名 ③郵便番号 ④施設住所 ⑤施設名 ⑥所属 ⑦連絡先(内線) ⑧一般検査経験年数 ⑨認定一般検査技師資格の有無

申込先：E-mail ippannaichi@yahoo.co.jp

連絡先：名古屋市立大学病院

中央臨床検査部 阿部 臨

〒467-8602

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

TEL：052-851-5511

(連絡はPM 4時以降をお願いします)

定員：60名

参加費：3,000円(当日徴収)

※県外会員：3,500円

申込期間：平成26年9月16日(火)～10月17日(金)

申込み受領及び日程の詳細についてはEメールでご連絡します。

※10月27日までに受領メールが届かなかった場合は、上記連絡先まで必ずご連絡ください。

講演会

生理検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年10月18日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋市立大学 医学研究科 医学部研究棟11階講義室A

テーマ：脳波検査の基礎から臨床まで

講師：

1. 脳波検査のコツと実際～小児脳波も怖くない！
名古屋市立大学病院 久富 一毅

2. 頭部画像異常と脳波について
名古屋市立大学大学院医学研究科
新生児・小児医学分野 安藤 直樹

司会：豊橋市民病院 手嶋 充善

内容：脳波検査は脳の機能的情報、活動状態を得る検査として日常よく行われています。簡便に行える検査ですが装着から記録、判読まで技師の技量を必要とする検査です。今回は前半に脳波の意義・発生機序などの基礎知識から基本的な測定方法のポイントを日常検査の流れにそってお話しして頂き、後半には医師より画像をたくさん踏まえて症例をご提示頂きます。

研究会

輸血検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年10月4日(土) 15:00～17:30

場所：愛知医科大学 本館3F 301講義室

テーマ：自己血輸血を考える

講師1：輸血管理料と貯血式自己血輸血管理体制
加算の算定ルール

名古屋市立大学病院 管理部 医事課
保険・診療情報管理 今泉 浩徳

2：当院における自己血採血の現状と学会認定・自己血輸血看護師の役割
安城更生病院 通院治療センター

飯田 雅子

3：産婦人科領域の輸血再考
-自己血からフィブリノーゲン製剤まで-
愛知医科大学 産婦人科 篠原 康一

司会：春日井市民病院 神野 洋彰

内 容：自己血輸血の推進が提唱される中で、制度的な変化が見られています。今回は、貯血式自己血輸血管理体制加算取得施設から保険診療制度について、学会認定・自己血輸血看護師からその業務・役割についてお話しいただきます。さらに、自己血輸血を含め産婦人科領域における輸血療法について講演していただく予定です。

研 究 会

血液検査研究班

専門教科：20点
 日 時：平成26年10月18日(土) 15:00～17:00
 場 所：(株)カーク本社会議室
 名古屋市中区丸の内3-8-5
 テー マ：1. 後天性血友病について
 2. 凝固因子・インヒビター・LA関連検査の測定と結果解釈
 講 師：1. 名古屋大学大学院医学系研究科
 血液・腫瘍内科学 岸本磨由子
 2. SRL特殊凝固検査S課 佐野 栄治
 司 会：名古屋大学医学部附属病院 山本ゆか子

研 究 会

一般検査研究班

専門教科：20点
 日 時：平成26年10月11日(土) 15:30～17:30
 場 所：医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院
 5階第1、2会議室
 JR東海道本線刈谷駅または名鉄道三河線刈谷駅下車、徒歩約15分。刈谷市公共施設連絡バス(無料)
 ・東浦町運行バス(有料)もご利用いただけます。
 テー マ：Q&A～素朴な疑問にお答えします～
 講 師：1) アンケート結果について
 JA愛知厚生連 足助病院

塩谷 里実

2) 関節液検査について
 医療法人 青山病院 平田 基裕

3) 尿中有形成分分析装置について
 ①豊川市民病院 永井 君子

②JA愛知厚生連 豊田厚生病院
 鈴木 康太

司 会：独立行政法人地域医療機能推進機構
 中京病院 宮地 英雄
 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院
 篠田 英邦

内 容：8月研究会でのアンケート結果と質問の回答、関節液検査の考え方・検査方法、尿中有形成分分析装置の運用方法などQ&A方式で企画しました。初心者の方からベテランの方まで多数の方の参加をお待ちしています。

お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。
 会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。
 申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

原稿募集

会員の皆様の原稿を募集しています。
 写真、豆知識、コーヒーブレイクなどジャンルを問いません。
 愛臨技事務所へメールでお送りください。



2014年8月10日現在 正会員数 2,837名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。

全国『検査と健康展』が本年度も開催されます。これは広く臨床検査と臨床検査技師を国民にPRしていく活動の一貫でもあります。下記に実施要項（抜粋）を記しますので、会員のご理解ご協力をお願いいたします。詳細につきましては、「平成26年度検査と健康展について」を都道府県技師会専用会員管理のトップページに掲載しますので、ご利用ください。

平成26年度 全国「検査と健康展」実施要領

1. 目的

世界に類を見ない医療保険制度に支えられ、我が国は世界有数の長寿国となった。国が進める「健康日本21」を実現するためには、生活に密着した病気の予防が重要であり、病気予防と健康への意識を高めていく活動が必要である。本事業は、国民の健康づくりや生活習慣病の早期発見のために、定期的な健康診断の重要性を説くとともに、臨床検査の正しい知識と普及・啓発を行い、国民の健康づくりへの意識高揚を図ることを主たる目的とする。さらに、学童期や青年期の若い世代に臨床検査の世界や臨床検査技師への興味をもってもらいたくための企画も取り入れる。

2. 全体の概要

- 1) 開催期間：11月を「臨床検査と健康・普及啓発月間」と定め、この期間内に一斉に全国47都道府県で「検査と健康展」を実施する。
- 2) 会場及び会期：長崎県佐世保市を中央会場とし、県は地方会場とする。
- 3) 主催団体：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会、および各都道府県臨床（衛生）検査技師会
- 4) 共催団体：日本臨床検査専門医会
- 5) 後援団体：厚生労働省、日本医師会、日本看護協会、日本病院会、全日本病院協会、日本臨床検査医学会、日本臨床検査薬協会、日本臨床検査薬卸連合会、日本衛生検査所協会等
- 6) 対象者：一般市民 年齢・性別は問わない
- 7) 参加費用：無 料

3. 中央会場の概要

- 1) 期日：平成26年11月8日（土）
- 2) 場所：佐世保市体育文化館
- 3) 来場者数：1,000名（予定）
- 4) 事業内容：
 - ①日臨技企画記念式典
 - ②「いきいき健康展」
一半市民の方々に実際に臨床検査を体験していただき、臨床検査への理解を深め健康増進に液立てていただく。以下の臨床検査を臨床検査技師により実施し、得られた検査結果について説明を行う。治療等、臨床検査技師の範疇を超えた質問に関しては医師による健康相談で対応する。
 - ③「臨床検査の世界をのぞいてみよう」
主に小学生、中学生の児童、生徒を対象にして、パネル展示や臨床検査に使用する機器を使用した体験型展示を行い、実際に触れることにより臨床検査を身近に感じてもらい、臨床検査に興味を持つ第一歩とする。
 - ④「講演会」

4. 地方会場の概要

- 1) 期 日：平成26年11月の土曜日または日曜日の1日間（原則として）
- 2) 会 場：都道府県臨床（衛生）検査技師会の指定会場（46ヶ所）
- 3) 事業内容：下記は去年の例示であり、独自色を盛り込んでも構わない
 - ①健康チェック（検査と説明）
 - ②健康ポスター、パネル等の展示
 - ③健康相談
 - ④リーフレット、パンフレット等の配布

公益社団法人愛知県臨床検査技師会主催の全国「検査と健康展」の詳細は10月号らぼニュースでお伝えします。